

えひめの子どもたちへのメッセージ

～人とよりよい関係を築くために～



愛媛県教育委員会教育長 高橋 智也
県内全ての小中学校をオンラインで
県内で一斉ライブ授業を行うという、
全国でも他に類を見ない「えひめい
じめSTOP!デイplus」。今年度は、「人
とよりよい関係を築くために」をテーマに、小中学校6年生と中
学校1年生約23,000人が、いじめの問題について熱心な議論を交
わしました。

ライブ授業当日は、ゲームや絵本を用いたワークショップ等
を通して、「互いの違いを認め合うことの大切さ」、「いじめら
れている人どう寄り添うべきか」、「いじめの場面に遭遇した
自分はどう行動すべきか」など、いじめの問題に正面から
向き合い、みんなが前向きな気持ちで学校生活を送るための熱
心な話し合いが行われました。90分という時間はあっという間に
過ぎましたが、いじめの問題について、学年生の友達
や、家族など周りの大人と一緒に考えを分かちあうことができ
るとも、この日感じたことを自分の生活に取り入れ、いじめの
ない学校・学校づくりに向けて取り組んでくれることを期待し
ています。

さて、来年度から、県内の公立小中学校で、小学5年生から
中学校3年生を対象に、1人1台端末を活用して、人とよりよ
い関係を築く力を伸ばしていくための「ジブンミカタプログラ
ム」の運用がスタートしますが、この「ジブンミカタ」とい
う言葉には、次のような意味が込められています。

- 自分が誰かの味方（ミカタ）になる
- 自分の味方（ミカタ）を増やす
- 自分が自分の味方（ミカタ）になる
- 自分や人の味方（ミカタ）を振り返る

今回のライブ授業でも、「自分をすることは大事」「自分を大
切にできる人は他人も大切にできる」といった発言がありま
した。今後、このプログラムも活用しながら、自分らの「ミカタ」
を見つけてほしいと願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが安心して毎日過ごして
いくためには、家族や周りの大人たちの理解とサポート、地域
社会全体で人間を尊重する雰囲気大切です。日頃から子ども
たちの様子に目を配り、声にならない声に耳を傾けることで、
健全な成長を支えていただきますようお願いいたします。
最後に、本事業の開催に当たり、御理解と御協力をいただいた
皆様に、心から感謝申し上げます。

相談窓口

困ったときは、一人で悩まないで

いじめ相談ダイヤル24

24時間受付
0120-0-78310

特設メールダイヤル
16:30～21:30

SNS相談
ほっとえひめ

ひとりで悩まないで
みんなのそばにいます

愛媛大学教育学部の学生から!



普段授業で学んでいる子どもたちだけでなく、オンラインでつながった愛
媛県内の児童生徒が全員で一つのテーマについて考える様子があ
るとも印象に残りました。みんながよりよい人間関係の築き方
について考えを深めている様子から、私たち自身もよりよい人
間関係を築いていくことの大切さを再認識することができました。
今回のライブ授業でいただいた意見や、それぞれの学校で取り組
めば、一人ひとりの個性を尊重した素敵な学校になることと思
いました。児童生徒の皆さんは今回のライブ授業で学んだこと
を大切に、通じていてほしいです。私たちも今回の授業で学ん
だことをもとに立派な教師になれるよう頑張ります。

来年度は東予から
発信します!!

愛媛県教育委員会
人権教育課
2025年(令和7年)
2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞

小中学生
約23,000人が参加



人とよりよい関係を築くために

県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!デイplus 開催!

令和6年11月21日(木)、松前総合文化センターをメイン会場に、県内すべての小中学校をオンラインでつないだ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイplus」が開催されました。小学6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、「人とよりよい関係を築くために」をテーマに話し合い、学び、考えを深めました。

ライブ授業の前半は、ワークショップを通して、自分にとっての普通は他人にとっては普通ではないことを学びました。「カバン持ちゲーム」ではセンター校が代表として質疑し、登場人物の行動について全員で考え話し合いました。「友達嫌いな気持ちになっていることに気付くことができるようにしたい」など、登場人物の立場でどのように行動したらいいかについて多様な意見が出されました。授業の中間には、ゲストのライセンス藤原一裕さんが作った絵本「グロはいちゃったよ」の朗読の後、藤原さんと共いじめへの対応策について話し合いました。話し合いを通して、自分を大切に守ることや、辛い思いをしている人に寄り添い、守り抜くことの大切さについて意見が交わされました。授業の後半には、人間環境大学の伊藤義徳先生から説明があり、よりよい人間関係を築くために必要なことについて話し合いました。そして、自分や周りの人のことをよく知ることで、いじめの起こりにくい学校づくりについて考えることができました。

事前授業

センター校・リモート校では、愛媛県教育委員会による事前授業を実施し、「いじめはなぜ起こるのだろうか」をテーマに考えました。



リモート校



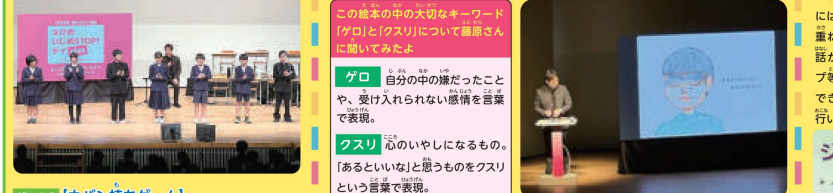
事前授業の感想

- 人には、その人の「個性」がある。それが違うからと言って、いじったり、からかったり、バカにするのはいけない。みんなの違いを理解して生活していけばいじめは生まれない。
- いじめが起きる原因は、人の間隔とあり、いじめをしている人の自覚がないなど様々な問題があることを知りました。
- 普段の生活でいじりたり、相手の気持ちをよく考えられていなかったり、反省しなければいけないことがあったので、これからは相手の気持ちを尊重し、互いの気持ちを理解しなければいけないと思いました。

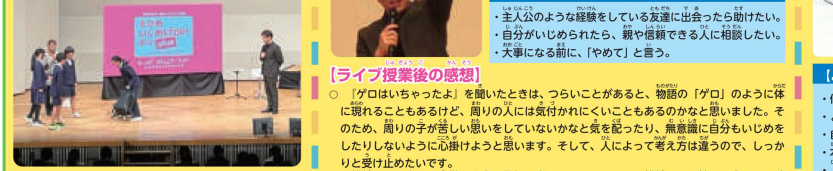
ライブ授業当日

ゲームを通して

ゲーム1【好きな「お寿司のネタ」教えて・白玉焼きに何にかけて食べる?】
ゲームを通して、人にはいろいろな考え方や捉え方があること、それには、正解や不正解がないということを学びました。そして、互いの個性を尊重し、認め合いながら生活することの大切さをみんなで確認しました。



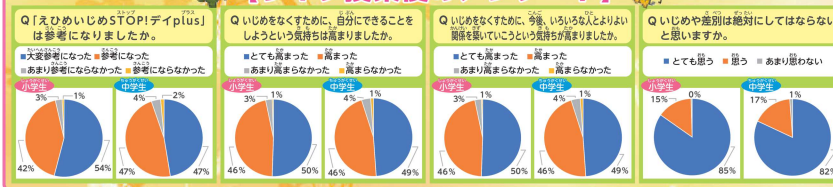
ゲーム2【カバン持ちゲーム】
4人での陣取り、じゃんけんか他人の人のカバンを次の電柱まで運ぶカバン持ちゲームを通して、いじめについて考えました。電柱に到着、交代のじゃんけんが行われま...、その陣、4人それぞれ立場でできることを考えました。



【カバン持ちゲームを通して話し合ったこと】

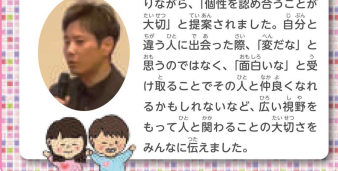
- 間違ったこと、「間違っている」と言葉にできる強い気持ちがあると、みんなが楽しい雰囲気をつくることができると。
- 人を傷つける雰囲気が出たら、一歩踏み出して「それやめよ」と言えることが楽しい学校生活につながる。「カバン持ちゲーム」をするとき自分よくない。

【ライブ授業後のアンケート】

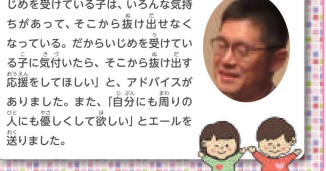


講師から

ライセンス 藤原一裕さん
小中学生の話し合いやワークショップの様子を振り返りながら、「個性を認め合うことが大切」と提案されました。自分と違う人に出会った際、「変な」と思うのではなく、「面白い」と受け取ることで人と仲良くなるかもしれないなど、広い視野をもって人に関わることの大切さをみんなに伝えました。



伊藤義徳先生
いじめの問題に真剣に向き合うみなさんへ、はじめを受けている子は、いろんな気持ちがあって、そこから抜け出せなくなっている。だからいじめを受けている子に気付いたら、そこから抜け出す応援をしてほしいと、アドバイスがありました。また、「自分にも周りの人も優しくして欲しい」とエールを送りました。



【ライブ授業後の「保護者」アンケート】 いじめをなくすために、お子さんたちに向けて一言

- 人それぞれの個性を尊重し、思いやりの心もち、よりよい人間関係を築いてほしい。
- 物事を正確に理解でき、それを実行し、よりよい行動を取ることが難しいことだと思うけど、勇気をもって踏み出してほしい。
- 助けを求めたいことは悪いことではない。自分の心をもっと大切にしたい。
- 「考え」ことを忘れて、楽しく生きてほしい。
- 「世界は自分が思っているよりすくなく広い」、居場所がそう簡単にはなくならないよ」ということを伝えたい。

【よりよい人間関係の築き方】について

人間環境大学総合心理学部の伊藤義徳先生から「よりよい人間関係の築き方」について説明がありました。

よりよい人間関係を築くためには、「よいアクション」を積み重ねることが大切である」との語があり、その後ワークショップ等振り返りながら、自分自身のことについて意見交換を行いました。

よいアクションを積み重ねよう!

ジブンミカタを楽しく活用しよう!

人間関係を、アクションの積み重ね

よいアクションを積み重ねよう!

- 【よりよい人間関係を築くために自分ができること】**
- 個性を尊重し、違いを否定しないで認め合う。
 - よいこととよくないことをしっかり考えてから行動する。
 - 自分からよいアクションを起こす。
 - 本を読んで、視野を広げる。
 - 人の意見を一度受け入れて、考えてから行動する。
 - いろいろな人と話をして、違いを理解する。
 - 自分を大切に、周りに流されない。

このプログラムには、教育委員会と大学だけでなく、みなさんのことを大切に思った皆さんの大人たちの「願い」が込められています。この取組を通して、「一人ひとりが人とよりよい関係を築くための力を伸ばし、安心して生活できる環境を整え、いじめのない明るい毎日を送ることができるようになれば」と願っています。

Q【学校として】「えひめいじめSTOP!デイplus」は参加になりましたか?

小学5年: 40% (不参加), 60% (参加)

小学6年: 40% (不参加), 60% (参加)

中学1年: 40% (不参加), 60% (参加)

中学2年: 40% (不参加), 60% (参加)